

STORY [ストーリー]

か
が
や
く
未
来
を
夢
み
た

自
分
を
取
り
戻
す
物
語

世界中で猛威を振るった感染症の影響で、世の中は一変してしまった。日本中の学校でもありとあらゆる行事、競技会などのイベントや部活動は中止となってしまう。栄東高校のミナトやミナミ達も高校生活の2年間を奪われてしまった。

あれから10年が過ぎたある日、高校時代サッカー部のエースだった佐野みなとがアルバイトをしているブラジル料理店に、地元テレビ番組のグルメレポートが唐突にやってきた。レポーターは元ローカルアイドルの三浦みなみ。二人は栄東高校の同級生だったが、卒業後は交流が無かったため、偶然の再会だった。無事に撮影も終わり、高校時代の思い出話をしながら夜道を歩く二人。ところが卒業後の進路の話題になると、二人とも何故か歯切れが悪い。互いに話したくない何かがあるらしい。みなとが帰宅すると、幼なじみの孝則が家にあがりこんでいた。孝則は面倒見がよく、みなとのことが気がかりでよく遊びにくる仲である。

数日後、みなみは高校時代からの親友の友恵、千種と集まっていた。千種から「みなみはみなとのことが好きだった」と冷やかされ、友恵からも「みなともみなみのこと…」と話は盛り上がる。当時の担任が定年退職となることもあり、千種の発案で同窓会を開くことになる。

数か月後、みなとの勤めるブラジル料理店で同窓会が開かれた。卒業以来10年振りの再会に盛り上がる一同。そこに担任の守山先生も参加し、一同は大盛り上がり。今年で定年を迎える守山先生にとって、みなとたちのクラスへの想いはひとしおだった。感染症のせいで、ありとあらゆるイベントが中止になり、卒業式までも出来なかったことが心残りだったからだ。そして本来は副担任の中先生が担任を務めるはずだった。中先生はみなとたちが一年生の時からの担任で、卒業を見届ける年に定年を迎えるはずだった。体調を崩し、担任を守山先生に譲っていたが、皆の卒業を見届けることなく、感染症で亡くなってしまう。当時は葬儀もできず、最期のお礼も伝えられなかった悲しさを思い出す一同。

そんな沈んだ空気を払拭するように、千種が一つの提案をする。

「今度こそ、卒業式をしよう！」 そして、止まっていた時が今、動き出す—。

CAST [主な役柄]

佐野みなと 28歳

ブラジル料理店「ヴァムス」でアルバイトをする青年。高校時代はサッカー部のエース。東京の大学にサッカーの特待生として進学したもの、感染症の影響で父が経営する印刷会社天白プリントが倒産てしまい、生活のために働くを得なくなってしまった。結局、サッカーと両立できず、チーム内に居場所が無くなり、サッカー選手になる夢をあきらめてしまった。

西 友恵 28歳

ダンス教室のインストラクター。高校時代はダンス部に所属。感染症が蔓延していた時期も、ダンスは比較的ダメージが少なく、活動を続けた。大学生時代に転職断裂の大けがをするが、持ち前のポジティブさで克服。怪我を感じさせない見せ方を研究し、「ナカガワ・ダンス・ラボ」の先生に評価されインストラクターになった。久し振りに再会した孝則とは、軽口を言い合える関係。

河合 千種(ちぐさ) 28歳

高校時代はダンス部に所属。夫は撮影会社を一人で切り盛りしていく、多忙。みなみと一緒にもう一度、ダンスを始める。高校時代の担任の守山みづほ先生を、今でも慕っている。守山先生の定年退職に合わせて同窓会を発案する。

佐野みなとの父・東(あづま) 58歳 佐野みなとの母・緑(みどり) 58歳

天白プリント倒産後、名古屋を離れ、印刷工場で働いている。みなとの未来を奪ってしまった自責の念から、みなとを気にかけながらも疎遠になっている。

店長・中村功一 49歳

栄のブラジル料理店「ヴァムス」の店長。昔、サッカー選手を目指していたが怪我で断念。ブラジルにサッカー留学した経験をもとにブラジル料理店を開店。みなとを応援したいと思っており、仕事とサッカーが両立できるよう、アルバイトから正規の店員に昇格させたいと説いている。

[アンサンブル(コーラス・ダンサー)] テレビ局の撮影班、ヴァムスの来店客、高校の同級生、ダンス教室の生徒など

AUDITION [オーディション]

歌唱、演技、ダンス、それぞれの特技・個性を活かしてチャレンジできるオーディションです。
皆様ふるってご応募ください。

日時・会場

〈日程〉2023年9月2日(土)、3日(日)のいずれか1日で日時を通知します。

〈会場〉名古屋市青少年文化センター7階 第1スタジオ(名古屋市中区栄三丁目18番1号 ナディアパーク内)

次の①～④の条件を満たす方とします。

特に、稽古によるレベルアップが本事業の一番の目的ですので、稽古参加の日程調整には最大限の協力を求めます。

① 原則として、名古屋市内または近郊の地域を中心に文化芸術活動を行っている方。

② 2023年4月1日現在で満15歳以上の心身ともに健康な方。

③ 指定する日時・会場で、稽古及び公演に参加できる方。

稽古 日程

11月中旬～本番前日で調整します。

参加必須の日程があります。

(オーケストラとの合同稽古、本番直前の集中的な稽古など)

④ チケット販売に協力できる方。

稽古 会場

主に名古屋市内の会場とします。

応募資格

所定の申込書に必要事項を記入のうえ、次の①または②の方法でお送りください。

① メールで
申し込み
8月18日(金) 23:59まで n-bunka@bunka758.or.jp
受信確認後、4日以内に確認メールをお送りします。
確認メールが届かない場合はお問い合わせください。

② その他の
方法
8月18日(金) 17:00まで
郵送(必着)または持参してください。

実施方法
[歌唱] [演技] [ダンス]の
3種目による選考を実施します。

結果通知
受験者全員に文書で通知します。

※選考内容に関する問い合わせには、一切お答えできません。

※出演者には公演終了後、少額ですが出演料をお支払いします。

所定の申込書
課題の請求方法
8月16日(水)までに、右のQRコードから
必要事項を入力のうえ請求してください。
追ってダウンロード用ウェブサイトのURLを
ご案内します。

応募
無料

